

デジタル・メモリーレコーダー

DVS-2

取扱説明書

八重洲無線株式会社

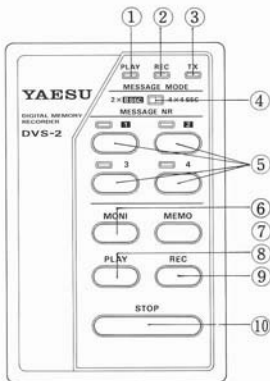
八重洲無線の製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

DVS-2は、下記に示す当社のトランシーバーに取り付けて、受信音の録音および自分の音声(メッセージ)の録音と再生・送信をすることができる、デジタル・メモリーレコーダーです。

接続方法

接続するトランシーバーの電源スイッチが“OFF”になっていることを確認し、トランシーバーの背面にある、DVS-2端子にDVS-2の7ピンコネクターを接続します。

各部の操作と説明



① PLAY

DVS-2が再生状態にあるときに点灯する緑色のLEDです。

② REC

DVS-2が録音状態にあるときに点灯するオレンジ色のLEDです。

③ TX

メッセージを送信しているときに点灯する赤色のLEDです。

④ MESSAGE MODE

メッセージの録音時間とフレーズ数を選択するスイッチです。

このスイッチを『2×8SEC』の方にセットすると、録音時間が8秒のメッセージを2フレーズ録音することができます。

また、このスイッチを『4×4SEC』の方にセットすると、録音時間が4秒のメッセージを4フレーズ録音することができます。

※フレーズ：

フレーズとは、DVS-2が一度に録音できる領域を示し、フレーズ数が“2”ということは2種類の異なったメッセージを、フレーズ数が“4”ということは4種類の異なったメッセージを、録音・再生できることを示します。

⑤ MESSAGE NR (フレーズキー)

フレーズを指定するスイッチです。

MESSAGE MODEスイッチを『2×8SEC』の方にセットしているときには“1”と“2”のフレーズ、MESSAGE MODEスイッチを『4×4SEC』の方にセットしているときには、“1”から“4”までのフレーズを指定することができます。

⑥ MONI

メッセージを再生するときに操作するキーです。

⑦ MEMO

メッセージを録音するときに操作するキーです。

⑧ PLAY

録音した受信音を再生するときに操作するキーです。

⑨ REC

受信音を録音するときに操作するキーです。

⑩ STOP

すべての動作を中断するときに操作するキーです。

受信音の録音・再生方法

録音方法

DVS-2は第1図に示すように、RECキーを押すと、受信音（FT-1021に接続した場合には、メインバンド（VFO A）の受信音）を16秒周期のエンドレス動作で、STOPキーを押すまで録音し続けます。

そこで、通常はDVS-2を常に録音状態のままにしておき、相手局の信号を聞き漏らしてしまったときや、重要な交信内容（たとえばQSLマネージャーのアドレスなど）を受信したときにSTOPキーを押し、録音停止16秒前からの受信内容をしっかり記憶することができます。

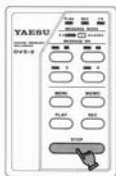
なお録音中は、RECインジケーターが赤色に点灯します。



第1図



録音開始



録音停止

受信時の録音・再生方法

再生方法

録音した受信内容は、PLAYキーを押すこと
によってすぐに再生でき、STOPキーを押すま
で何度でも繰り返し再生します。

PLAYキーを押すとトランシーバーからの受
信音 (FT-1021に接続した場合には、メインバ
ンド (VFO A) の受信音) が消え、代わりにDVS-2
の録音内容をSTOPキーを押すまで繰り返し再
生します。

なお再生中は、PLAYインジケーターが緑色
に点灯します。



再生開始



再生停止

メッセージの録音・再生方法

録音方法

メッセージの録音は、トランシーバーのマイクを使って行います。

1. まず始めに、録音するメッセージの長さ(時間)に合わせて、メッセージモードの選択をします。

録音時間はMESSAGE MODEスイッチにより(8秒のメッセージを2種類「2×8SEC」)または(4秒のメッセージを4種類「4×4SEC」)のどちらかを選択することができますので、希望する方に設定します。

2. MEMOキーをワンタッチで押すと、オレンジ色のRECインジケーターが点滅して録音待機状態になります。

3. ここで、メッセージを録音するフレーズのキー*を押すと、そのフレーズキーのインジケーターが赤色に点灯するとともに、RECインジケーターの点滅が点灯に変わり、録音を開始します。

* メッセージモードを「2×8SEC」の方に設定しているときには、「1」か「2」のどちらか、「4×4SEC」の方に設定しているときには、「1」から「4」までのいずれか。

4. 録音は4秒または8秒後に自動的に停止しますので、時間配分を良く考え、トランシーバーのマイクに向かって送話します。

なお、録音レベルはDVS-2が自動的に調整してくれます。

5. 録音するメッセージが終了した直後にSTOPキーを押して、ただちに録音を停止してください。

* MEMOキーのあとに、録音されているメッセージのフレーズキーを押すと、今まで録音されていた内容はすべて消去され、新しいメッセージが録音されます。



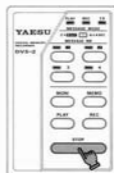
メッセージモードの選択



録音待機



録音開始



録音中止

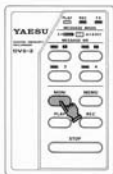
メッセージの録音・再生方法

メッセージ内容の確認方法

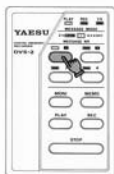
録音したメッセージがきれいに録音されているかを確認するときには、MONIキーとフリーズキーを続けて押します。

MONIキーをワンタッチで押すと緑色のPLAYインジケーターが点滅しますので、続けてメッセージを確認したいフリーズのフリーズキーを押します。

フリーズキーを押すとトランシーバーからの受信音(FT-1021に接続した場合にはメインバンド(VFO A)の受信音)が消え、代わりにメッセージの内容を再生します。



モニター待機状態



モニター開始

リセット操作

リセット操作を行うときには、必ずDVS-2をトランシーバーに接続した状態で行ってください。

1. トランシーバーの電源を“ON”にします。
2. DVS-2本体の左側面にあるRESETと書かれているスリットの中のスイッチを、ヨウジのような先の尖った物で押します。
3. DVS-2のパネル面にあるすべてのLEDが消灯したことを確認した上で、約5秒後にPLAYキーを押します。
4. PLAYインジケーターが点灯したことを確認し、STOPキーを押します。

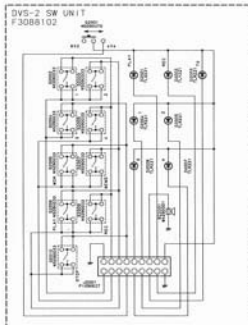
以上の操作で録音したメッセージや受信音の内容はすべて消去され、DVS-2は初期状態に戻ります。

バックアップ機能

DVS-2には、トランシーバーの電源を“OFF”にしても、録音したメッセージや受信音の内容を記憶するバックアップ機能を備えています。

DVS-2はバックアップ機能を動作させるために、バックアップ用電池を組み込んであります。バックアップ用電池には高性能リチウム電池の採用により、DVS-2をトランシーバーから外した場合でも長期間録音内容を記憶し続けることができます。

バックアップ機能が動作しなくなり、バックアップ電池(リチウム電池)の消耗と恐れられましたら、最寄りの当社サービスステーションにお持ちください。(有料)



八重洲無線株式会社

営業部 〒146 東京都大田区下丸子1-20-2

札幌営業所/サービス 〒003 札幌市白石区南条4条1-1-33 石川ビル	☎ 011-82311161
東北営業所/サービス 〒967 福島県須賀川市吾妻宇ウツロ田4-1	☎ 0246-7311281
北関東営業所/サービス 〒332 埼玉県川口市荒平1-1-1-3	☎ 048-22216651
南関東営業所 〒146 東京都大田区下丸子1-20-2	☎ 03-375619181
名古屋営業所/サービス 〒467 名古屋市南区戸部町2-1-4	☎ 052-81614448
大阪営業所/サービス 〒542 大阪市中央区上汐1-4-6 西井ビル	☎ 06-734614448
広島営業所/サービス 〒733 広島市西区己斐本町2-12-34 3Aビル	☎ 082-27312332
福岡営業所/サービス 〒812 福岡市博多区上原町1-16-26 第2山本ビル	☎ 092-48214882
サービスセンター 〒332 埼玉県川口市荒平1-1-1-3	☎ 048-22216651

この取扱説明書は、再生紙を使用しております。

E00470002 (9701S-CK)

© 1992 八重洲無線株式会社
※ 無断転載・複写